



『尿検査で何が分かるの?』



しもじ内科クリニック院長
下地 栄壮



体の中の余分な水分と共に、老廃物を排泄するのが尿の目的です。尿を調べることで、本来は混じってはいけない成分が混じっていないか、逆に排泄しなければならぬものがきちんと排泄されているかなどをチェックすることができ、体の機能が正常に働いているかどうかということが分かります。

尿蛋白「基準値(-)・要注意(±)(+)・異常(2+以上)」

血液中の蛋白質は、通常は腎臓で再吸収されるため、尿に漏れ出る分はほんのわずかです。繰り返し検査しても尿蛋白の陽性が持続する場合は、何らかの腎臓病の可能性が考えられます（激しい運動、発熱、脱水などによって一過性に尿蛋白陽性になることがあります）。

※ 起立性蛋白尿とは

思春期のやせ型のお子さんに多くみられる良性の蛋白尿で、やせ型の体形のために、腎臓が圧迫されたりすることによるものと考えられている。起床時に取った尿(早朝尿)では蛋白が出ていないが、活動を始めてからは蛋白尿が陽性となる。特に治療の必要はなく、成人になれば自然と消失する。

尿潜血「基準値(-)・要注意(±)(+)・異常(2+以上)」

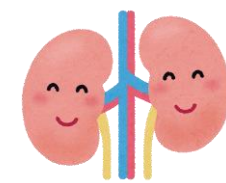
腎臓や尿管、膀胱、尿道などから出血があると、尿に血液がまじります。尿路結石、膀胱炎、腎盂腎炎、糸球体腎炎、膀胱がん、腎細胞がんなどの他に、アスピリンやワーファリンなどの薬が原因のこともあります。女性では病気ではなくても陽性になる率が高めです。

尿糖「基準値(-)・要注意(±)・異常(+)」

血液中の糖濃度がある値(160~180mg/dL)を超えると、腎臓で再吸収しきれなくなり尿中に糖が漏れ出て来ます。糖尿病や甲状腺機能亢進症などで陽性になります。

※ 腎性糖尿とは

血糖値が正常、または低いにも関わらず、尿中に糖分が出ていく疾患で、頻度は約0.3%と報告されている。腎臓の尿細管で糖分を再吸収する能力が低下しているため、血糖が正常でも尿中に糖分が排出される



しもじ内科クリニック(nico nico studio)

東区三苦3丁目2-49(福岡銀行美和台支店隣り)
TEL: 092-605-6300